

月刊 まち・コミ

2007年12・

2008年1月号

● インフォメーション ● <http://park15.wakwak.com/~m-comi/>

● 今月の注目記事 ● P 1～P 2 1.17 御蔵近辺の様子



1月17日 御蔵近辺の様子

丸13年を迎えた、阪神・淡路大震災。神戸市内各地で、慰霊の集いが行われました。御蔵では、町づくり協議会の時の実行委員会形式から自治会の単独主催になって、2年目。1月17日当日は、ろうそく法要のみ行われ、昨年まで1月17日に近い日曜日に行われ続けてきた慰霊法要は開催されませんでした。

ろうそく法要の様子を、ご報告します。

1.17 御蔵では

1月17日の朝5時からと、夕方5時からの2回、ろうそく法要が行われました。曹洞宗を中心とした僧侶の方々による読経の中、厳粛に執り行われました。午前は9人、午後は12人もの僧侶の方々に来てくださいました。初代代表の小野宗幸（幸一郎）さんも、僧侶として来てくださり、再会の場ともなりました。

兵庫県にある丹波市立大路小学校の子どもたちから、心のこもった手作りろうそくが届き、ペットボトルのろうそくと共に並べられました。「命を大切に」など、1本1本にメッセージと名前が書かれていました。



大路小学校の子どもたちからのろうそく

朝の法要終了後、僧侶の方々と自治会役員が、話をする時間がありました。昨年11月に、元御蔵通5・6・7丁目町づくり協議会の田中保三会長のもとへ、自治会館に置いてある、阪神・淡路大震災の犠牲となられた方々の仏壇やお位牌について手紙があり（本誌3ページ「大地のつぶやき」もご参照ください）仏壇やお位牌に関する相談や話し合いがあったと聞いています。一昨年12月に惜しまれながら解散した御蔵通5・6・7丁目町づくり協議会や私たちまち・コミュニケーションと、自治会役員との意識の違いが、現れていたようです。

また、まち・コミ事務所には、法要の終了後、多くの関係者がお集まりくださり、御蔵の近況を報告する機会ともなりました。御蔵住民の有志の方々が、粕汁とご飯のお接待をしてくださいました。

1.17 報道

新聞報道を見ている限りでは、「備える」「伝える」「格差」というキーワードが目立ったように感じました。

修学旅行生の受け入れを続けている、語り部のメンバーでは、研修会を続けています。研修会でも、今年の1.17の報道から、修学旅行生に伝えたいことをテーマに研修を行いました。その中で、「近所の人々の体験でも、直接聞くことは少なく、新聞報道で知ることが多い」という意見が出されました。

阪神・淡路大震災の経験が、住民一人一人の中にどのように記憶されるのでしょうか。最近では「震災が起こった日のことは、忘れてきたなあ」という声も聞かれるようになってきました。その中で、まち・コミでは、地域の有志と共に教訓を伝える活動を、手探りながらこれからも続けていきます。よろしくおねがいたします。



御蔵北公園に多くの人が集まりました



今年も仏式で行われました



上から見た御蔵北公園の様子

報告：修学旅行への震災学習

12月2日
広島へ研修に行ってきました

修学旅行受け入れのメンバーである、地元有志の語り部とまち・コミスタッフは、2005年度から研修を行っています。これまで、人と防災未来センターへ行ったり、講師を招いてお話を聞いたり、まち・コミに集まって語り部同士意見交換をしてきた中で、これから未永く伝えていくことを学ぼうと、広島に行くことにしました。

ボランティアガイドさんによる案内で、約2時間平和記念資料館を見学し、国立広島原爆死没者追悼平和祈念館にて原爆被爆体験証言者である御堂義之(みどうよしゆき)さんのお話を約2時間聞く、といった研修内容でした。

当日は、私たちが修学旅行生の気持ちになってお話を聞き、質問をしました。わかりやすい資料を用意されていたり、身振り手振りを交えながらはっきりと語られる様子が、印象的でした。研修で学んだことを、今後、自分たちの語りに生かそうと、さらなる意欲を持って帰ってきました。



大地のつぶやき

「まち教解散の顛末記」その後(下)

二〇〇七年二月号に顛末記を書いて一年、自治会役員側の排除の論理は、未だ続いている。昨年八月十日付、自治会役員、自治会館運営委員(殆ど重複)名で「毎日自治会館を開けないのでお花を供えても、いつも枯れて臭いもする。自治会館に仏壇、神棚を置くべきでないと言う役員の見解です。」と私個人宛に書面が会社のポストに入っていた。自治会長(会館運営委員長兼務)宛に、以下の如く反論を書いた。「自治会館の古民家は外部からの見学者も多く、建物のためにも毎日開放して通風したいので、以前通り近接するお二人(了解済み)と私の三名で開閉したい。仏壇と神棚は持ち主であった香住の安井忠道氏と原型復旧を条件に頂戴した。大工が拵えたとおしき大きな天蓋付きの神棚は珍しく、北前船の乗組員だった名残を留めている。仏壇は移築時にボランティアの学生が棚を作った。震災翌年からローソク祭を先導して下さった藤井隆英師が自費でつくった位牌と、開所式に僧七人で大般若教を唱えて頂いた導師役の丹波篠山の小林寺さんがボランティアでの移築話に感動され、自坊の釈迦如来像を是非ここに頂いたもの。いずれにしても多くの犠牲者を出した当地域だからこそ、神仏に対しより一層尊崇の念を抱き、ご加護を願うのは当然のこと。因って従来通り」と意見を認めた。

その後十月四日付で再度「役員会で決議の結果、自治会館を宗教施設に出来ない。十月末までに返事が無い場合は、自治会で撤去する。以下撤去対象物、神仏具、ピアノ、手まり人形」。私の回答「宗教施設とは異なる事、年一回都合四回慰霊法要をして来たが、布教活動を目的としていないことは誰の目にも明々白々。(位牌、釈迦如来像、軸、さらにピアノ、七段飾りのひな人形、前栽の樹々、灯籠、玉石、沓脱石に至る迄の来歴を述べ)既に建物に溶け込み風格を醸し出し、建物の一部としての資産故、その処分は規約第二十七条に則り、総会の場で決議が本来である。開閉の件と併せて回答願う」と。

株式会社兵庫商会 田中保三

まち・コミ活動報告

11/1 ~ 12/31

- | | | |
|----------------------|----------------------|----------------------|
| 11/1 修学旅行受入(剣野小学校) | 12/1 古民家移築状況報告会 | |
| 11/1 研修受入(防災科学技術研究所) | (学生有志主催) | 12/12 フィリップモリス中間報告会 |
| 11/3 まち・コミの集い | 12/2 修学旅行受入研修会 | 12/12 シアトル古民家移築打合せ |
| 11/15 修学旅行受入(米沢商業高校) | 12/4 出石市民農園冬野菜発送 | (駒澤大学西村先生) |
| 11/19 出張講演(島原・田中) | 12/5 修学旅行受入 | 12/15・16 出石市民農園冬野菜発送 |
| 11/19 修学旅行下見(五泉北中学校) | (静岡県立清水南高等学校中等部) | 12/19 まち・コミ運営委員会(神戸) |
| 11/20 出張講演(島原・田中) | 12/7 アドバイザー派遣 | 12/24 出石市民農園冬野菜発送 |
| 11/26 研修受入(安山会) | (東末氏来訪) | 12/25 月刊まちコミ印刷 |
| 11/26 研修受入 | 12/8・9 出石市民農園冬野菜発送 | 12/25 月刊まちコミ発送作業 |
| (JICA日本NPOセンター) | 12/11 修学旅行下見(市場中) | 12/27 修学旅行下見(鹿沼市立東中) |
| 11/29 修学旅行下見(額中) | 12/11 研修受入(関西NGO協議会) | 12/28・29 出石市民農園冬野菜発送 |

ご支援、ありがとうございます。

11/1 ~ 12/31

賛助会員(新規・継続)

川北健雄(兵庫県) 松山真(神奈川県) 辻野芳郎(兵庫県) 森山正和(兵庫県) 鎌田啓通(徳島県)
 おおさかの街編集部(大阪府) 中尾嘉孝(兵庫県)

協力

社団法人シャンティ国際ボランティア会(東京都) 株式会社兵庫商会(兵庫県) 【順不同・敬称略】

新規賛助会員募集&更新のお願い

まち・コミでは、さらに活発に活動を行うため、賛助会員を募集し、金銭面でのご支援をいただいております。会費は、事業推進のために活用させていただきます。賛助会員のみなさまには、会員特典をご用意しておりますので、ぜひ賛助会員への登録をお願いいたします。

また、賛助会員は1年更新とさせていただきます。現在賛助会員の方も時期がきましたら、更新をお願いいたします。(期限は「月刊まち・コミ」郵送時の封筒の、宛名の下に記載していますので、ご確認ください。)

会員特典

本誌「月刊まち・コミ」の送付。
 まち・コミュニケーションに関する、Eメールでの情報送付、WEBの特別ページの参照

よろしくおねがいいたします。

編集後記 「月刊まち・コミ」ずいぶん遅れての発行となりました。申しわけありません。(戸)

年会費

個人・法人 年間5000円
 学生 年間3000円

郵便振替口座番号

00950-3-42788

口座名称

「まち・コミュニケーション事務局」

2008年6月1日発行	
編集/発行	まち・コミュニケーション
	定価 100円
御蔵事務所	〒653-0014
	神戸市長田区御蔵通5-5
	TEL 078-578-1100 / FAX 078-576-7961
東京事務所	〒162-0052
	東京都新宿区戸山1-24-1
	早稲田大学文学部浦野研究室内
神奈川事務所	〒214-8580
	神奈川県川崎市多摩区東三田2丁目1-1
	専修大学文学部大矢根研究室内
	e-mail m-comi@bj.wakwak.com
	URL http://park15.wakwak.com/~m-comi/